

Numazu Fresh News

9/1(日)裾野市総合防災訓練に参加 国交省の役割・機能を説明

発信日: 2013/9/10

発信者: 沼津河川国道事務所

9/1の裾野市総合防災訓練に、事業対策官と総務課職員の2人が現地情報連絡員(リエゾン)として参加しました。

今回の訓練では、災害時にリエゾンを派遣するまでの流れや、リエゾンを通して把握した要望に対して、国土交通省として果たすべき役割や機能を説明しました。

警察(裾野警察署)及び自衛隊(第34普通科連隊第3中隊)などの関係機関も参加し、災害時の支援体制について説明がありました。

また自衛隊からは、今年1月に沼津河川国道事務所などと合同で実施した狩野川における震災対処訓練の紹介もありました。

訓練の様子



説明する事業対策官



熱心に話を聞く参加者

訓練の最後に裾野市からの依頼で、国土交通省の局所的災害時の支援の紹介として、事務所が実施した7月18日の大雨災害に対する西伊豆町への支援についての報告を行いました。

今回の訓練では、広域的な大規模災害を対象として各機関の役割について確認を行い、訓練終了後には、裾野市の防災担当者より「広域的な災害と局所的な災害の支援の流れの違いや、国土交通省で実施してもらえる事について、非常に分かりやすかった。」との評価をいただきました。

記事の詳細については(河)副所長(TEL:055-934-2001)にお問い合わせ下さい。